

平成26年度 学校自己評価表

中村女子高等学校

学校教育目標		目指す学校像 社会で活躍できる人材の育成 基本的取組姿勢 「こんにちは」「ありがとう」は私たちのことばです	年間評価
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	具体的評価基準
学習指導	基礎基本の徹底と応用力の育成(教務)	研究授業や研修会などをおとして教材研究の充実を図り、指導方法の研究に努める。 【今年度の実施状況・課題等】 研究授業や研修会については各学期ごとに実施した。	4 研究授業、研修会に加え、教科を超えた教育力向上の研修会を2回以上行った。 3 研究授業、研修会に加え、教科を超えた教育力向上の研修会を行った。 2 研究授業及び研修会を実施した。 1 研究授業を実施したが、研修会は行われなかった。 【次年度への改善策】 本年度に引き続き、授業研修、研修会の充実を図るとともに、新入学生徒に対する指導のあり方に検討を加える。
	円滑な新教育課程の実施と新教育課程の検討(教務)	教科によって大学入試に必要な場合には新教育課程に検討を加える。 【今年度の実施状況・課題等】 新教育課程については県が実施した研修会に参加した。	4 検討会を行い、新教育課程及びその実施上の問題点について検討・改善を行った。 3 検討会を行い、新教育課程実施上の問題点について検討・改善を行った。 2 検討会を行い、新教育課程実施上の問題点について検討した。 1 検討会は行ったが、新教育課程実施上の問題点について情報を収集することにとどまった。 【次年度への改善策】 新教育課程に検討が必要になった場合は適切に対応する。
	教科指導充実のための授業時間の確保(教務)	臨時時間割、早めの時間割変更等により、授業時間の確保に努める。 【今年度の実施状況・課題等】 時間割変更願の早めの提出を呼びかけ、対応した。	4 臨時時間割等で、平常同様の授業時数を確保できた。 3 臨時時間割編成、曜日変更、時間変更等を早めに周知し、実施した。 2 臨時時間割編成、曜日振替をおこなった。 1 臨時時間割を編成した。 【次年度への改善策】 従来からの授業時間確保と総合的な学習の時間の充実を図る。
生徒指導	生徒の社会性を育む開発的な生徒指導の取組(生徒指導)	体験活動や講話を実施することにより生徒のコミュニケーション能力の向上を図るとともに、これからの在り方・生き方を考える機会を設ける。 【今年度の実施状況・課題等】 朝の立哨活動における挨拶の励行やマナーの充実を目指した。また、ボランティア活動にも積極的に取り組んだ。	4 体験活動や講話を実施し、肯定的評価が80%以上であった。 3 体験活動や講話を実施し、肯定的評価が60%以上であった。 2 体験活動や講話を実施し、肯定的評価が60%未満であった。 1 体験活動や講話を実施できなかった。 【次年度への改善策】 生徒自身の自発的な挨拶の励行を目指したい。マナー順守も理解、徹底していきたい。
	安全指導の徹底とマナーアップに向けた取組(生徒指導)	校門等での指導や校内の巡回指導により安全指導を徹底、服装・頭髪、あいさつ、時間厳守などの基本的な生活習慣について、教職員の共通理解のもと、組織的・継続的に取り組む。 【今年度の実施状況・課題等】 朝の立哨活動における交通安全指導の徹底を図るようにした。また、スクールバス利用の生徒にも乗客マナーの徹底を図った。	4 毎日、校門(昇降口)指導や敷地内の巡回指導を実施した。 3 週3~4回程度、校門(昇降口)指導や敷地内の巡回指導を実施した。 2 週1回、校門(昇降口)指導や敷地内の巡回指導を実施した。 1 月数回程度、校門(昇降口)指導や敷地内の巡回指導を実施した。 【次年度への改善策】 自転車指導を中心に、公共交通利用マナーの徹底を図りたい。また、公共施設の利用マナーについても指導していきたい。
	教育相談活動の活性化(養護・教頭)	校内体制の整備・充実を図るとともに、スクールカウンセラーや専門機関との連携を密接にし、生徒・保護者への相談活動を活性化させる。 【今年度の実施状況・課題等】 スクールカウンセラーとの連携を密にし、相談活動を活性化させた。	4 スクールカウンセリングの利用を年20回以上実施した。 3 スクールカウンセリングの利用を年10回以上実施した。 2 スクールカウンセリングの利用を年5回以上実施した。 1 スクールカウンセリングの利用は5回未満であった。 【次年度への改善策】 勉強や人間関係に対する強いストレスを受けている生徒に対し、より早期に対応することが求められる。また、学級担任や学年と連携を密にし、より組織的に対応する必要があることから、次年度においても引き続き相談体制の整備・充実を努める。
進路指導	各学年、進学担当部と連携し、進学意識を育てる。	【今年度の実施状況・課題等】 6月志望理由書サポート講座(3年)6月小論サポート講座(特進1~3年と3年生希望者)8月4年制大学希望者を中心とした大学進学集中講座(1~3年)9月面接対策講座(3年)3月進学ガイダンス(特進1年、2年進学希望者)3月職業別ガイダンス(1、2年)各学期に実施される進学ガイダンス(市内)へ積極的に参加させる。	4 80%以上の進学希望者が校外模試を受験した。 3 70%以上の進学希望者が校外模試を受験した。 2 50%以上の進学希望者が校外模試を受験した。 1 校外模試を受験した進学希望者が50%未満であった。 【次年度への改善策】 各学年ごとに、意識を高めることはできた。模試と部活動との日程重複はあったが、工夫して受験させた。
	高い志を育み、個々の生徒の力を伸ばす進路指導の推進(進路指導)	各学年、就職担当部と連携し、就職意識を育てる。 【今年度の実施状況・課題等】 5~8月就職模試 6月志望理由書サポート講座(3年) 7~8月応募前見学	4 100%以上の就職希望者が就職模試を受験した。 3 70%以上の就職希望者が就職模試を受験した。 2 50%以上の就職希望者が就職模試を受験した。 1 就職模試を受験した就職希望者が50%未満であった。 【次年度への改善策】 各自の希望企業・職種を早期に決定し意識高揚と企業研究・試験勉強(面接含)につなげた。
	学習習慣の確立をめざす。	【今年度の実施状況・課題等】 学習教室(放課後・夜間)の活用	4 50%以上の生徒が学習教室を利用した。 3 40%以上の生徒が学習教室を利用した。 2 30%以上の生徒が学習教室を利用した。 1 学習教室を利用した生徒が30%未満だった。 【次年度への改善策】 年間を通じて利用できない生徒もいた。申し込む時は各担任が1年間継続して活用するよう指導し、参加状況を担任に報告し、担任からの声掛けを頻繁にすることで定着させていきたい。

健康 安全	健康的な生活や生命について考える力・実践する力の育成(総務)	実生活に役立つ健康教育の一層の充実を図る。	4 事後評価で、その後の実生活に役立てたいと感じた生徒が90%以上であった。 3 事後評価で、その後の実生活に役立てたいと感じた生徒が70%以上であった。 2 事後評価で、その後の実生活に役立てたいと感じた生徒が60%以上であった。 1 事後評価で、その後の実生活に役立てたいと感じた生徒が60%未満であった。	3	
		【今年度の実施状況・課題等】 保健委員の存在意識を見直す目的で、健康教育のねらいを明確にし、生徒一人ひとりが実生活に役立てたいとしており意識向上につながった。	【次年度への改善策】 生徒の感想から健康課題を見つけ、次年度へ向けて早期に話し合い活動をスタートさせ、さらに生徒の意識力を高めたい。		
		各ホームルームにおける朝の健康観察を徹底し、健康状況のより正確な把握に努める。	4 90%以上の日で実施できた。 3 80%以上の日で実施できた。 2 70%以上の日で実施できた。 1 70%未満の日の実施にとどまった。		
		【今年度の実施状況・課題等】 健康観察の法的根拠と意義を教員に周知徹底し、より使いやすい様式を工夫改善し、実施率アップを図った。	【次年度への改善策】 教職員への周知徹底をはかり意識を高め、生徒の健康状況の早期把握に努めたい。		
	健康で安全な環境について考える力・実践する力の育成(総務)	環境美化を徹底するため整美委員会の活動を活性化させるとともに、掃除用具の点検・補充を図る。	4 毎月1回の整美委員による「清掃状況の点検」が90%実施できた。 3 毎月1回の整美委員による「清掃状況の点検」が80%実施できた。 2 毎月1回の整美委員による「清掃状況の点検」が60%実施できた。 1 毎月1回の整美委員による「清掃状況の点検」が60%未満の実施にとどまった。	3	
		【今年度の実施状況・課題等】 整美委員による清掃状況の「点検」と「改善」を実施、生徒に周知徹底を図った。また、清掃用具の補充、耐震工事による不都合に対応した。	【次年度への改善策】 耐震工事に伴う、安全な清掃区域での掃除を徹底させたい。整美委員を中心に清潔な清掃の徹底を意識づけたい。		
		換気の徹底等、学校環境衛生の維持に向け、日常点検の徹底を図る。	4 すべてのクラスで十分な換気が行われていた。 3 十分な換気が行われているクラスが90%以上であった。 2 十分な換気が行われているクラスが70%以上であった。 1 十分な換気が行われているクラスが70%未満の実施にとどまった。		
		【今年度の実施状況・課題等】 インフルエンザ、風邪予防など感染症対策とからめて、暖房時の窓開けなどを換気を促したが、まだまだ換気が十分でないクラスもある。教員の指導はもちろんであるが、保健委員会の自主的・主体的活動の活性化が必要。	【次年度への改善策】 学校薬剤師による空気検査等の結果を活用し、具体的な数値や必要性を示すことで、より意識向上を図り、環境衛生面のマナーアップをめざしたい。また、保健委員会活動と合わせ、定期的に校内巡視を行い、さらに改善を図りたい。PM2.5の上昇など換気できない環境もあり、短時間で有効な換気の方法の指導もしていきたい。		
	情報 教育	情報モラル・マナーに係る理解の深化と実践力の育成(広報)	教科・情報・生徒指導部と連携し、HR活動等の時間を活用しながら、外部の専門家による指導を含め情報マナー・モラルに関する指導を日常的に行う。	4 日常的に指導を行い、情報モラル・マナーへの理解が十分に得られ、非常に効果的だった。 3 日常的に指導を行い、情報モラル・マナーへの理解が得られ、非常に効果があった。 2 日常的に指導を行い、情報モラル・マナーへの理解が得られた。 1 日常的に指導が行われず、情報モラル・マナーへの理解が不十分だった。	3
			【今年度の実施状況・課題等】 本年度は全学年を対象に「ケータイ安全教室」を実施し、また、1年生については「情報」の授業をとおして、携帯電話等のIT機器によるトラブルの予防に努めた。	【次年度への改善策】 IT関連機器および情報通信産業の急激な変革に対応し、トラブル回避に努める必要がある。特に表面化しにくいインターネット上のトラブル等に留意する必要がある。具体的には年度当初、保護者向けの啓発を実施することが必要であり、準備・実施をしたい。	
生徒の興味・関心のある図書の選定・購入について、より多くの生徒の要望が反映できるようにする。			4 より多くの生徒の要望を反映できる取組を工夫し、それに即した図書をほぼ90%購入できた。 3 より多くの生徒の要望を反映できる取組を工夫し、それに即した図書をほぼ70%以上購入できた。 2 より多くの生徒の要望を反映できる取組を工夫し、それに即した図書をほぼ50%以上購入できた。 1 より多くの生徒の要望を反映できる取組の工夫をしなかった。		
【今年度の実施状況・課題等】 生徒の要望に即しながら図書の選定・購入を進め、要望の高い図書を購入した。学級文庫により、常に読書が可能な環境作りにつながった。			【次年度への改善策】 図書購入に、より多くの生徒の要望を反映できるように、購入希望調査方法について検討を加える。定期的に図書を購入し、読書に供する体制を作りたい。		
図書 教育	生徒の意欲的な読書活動と図書室利用の推進(教務)	図書委員会を活性化し、啓発活動を行うことで、図書貸出数の増加を図る。	4 啓発活動を行い、図書貸出数の増加率は、昨年度比15%以上であった。 3 啓発活動を行い、図書貸出数の増加率は、昨年度比10%以上であった。 2 啓発活動を行ったが、図書貸出数の増加率は、昨年度比10%未満であった。 1 啓発活動を行ったが、図書貸出数は昨年度実績にとどまった。	2	
		【今年度の実施状況・課題等】 図書委員会の活動は計画どおりに実施した。	【次年度への改善策】 図書室の利用マナーを継続して呼びかける。		

特別活動	豊かな感性・確かな知性、健やかな心身の育成(特別活動)	企画運営にあたり積極的に生徒の意見・要望等を取り入れ、体育的行事(体育祭・マラソン大会・クラスマッチ等)の一層の充実を図る。	4 生徒の85%以上が体育的行事に満足した。 3 生徒の70%以上が体育的行事に満足した。 2 生徒の60%以上が体育的行事に満足した。 1 体育的行事に満足した生徒が60%未満であった。	4
		【今年度の実施状況・課題等】 今年度の体育的行事は、例年通り生徒の積極的参加で盛況であった。	【次年度への改善策】 来年度も企画運営については体育委員会の意見を参考にし、全校生徒の積極的な参加を促し、内容をさらに充実させていきたい。	2
		部活動のさらなる活性化により、体育部・文化部の加入率の向上を図る。	4 部活動への加入率が80%以上であった。 3 部活動への加入率が70%以上であった。 2 部活動への加入率が60%以上であった。 1 部活動への加入率が50%未満であった。	2
	自ら気付き、考え、実行する生徒の育成を目指す特別活動(生徒指導)	各種委員会の活性化を図り、学校生活をよりよいものにする。	4 各種委員会が活発に活動し、学校生活を非常に良いものにした。 3 各種委員会が活発に活動し、学校生活を良いものにした。 2 各種委員会が活動するが、学校生活を良いものにしたとはいえない。 1 各種委員会の活動が低調で、学校生活を良いものにならなかった。	3
		【今年度の実施状況・課題等】 各学校行事において、実行委員会が積極的に活動した。また、生徒も自ら参加する姿勢が見られるようになった。	【次年度への改善策】 生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、自己形成につながる支援をしたい。	3
		HR活動や授業における人権教育の一層の充実(人権教育)	4 事後評価で「とても役立った」「ある程度役立った」と感じた生徒がほぼ100%であった。 3 事後評価で「とても役立った」「ある程度役立った」と感じた生徒がほぼ80%以上であった。 2 事後評価で「とても役立った」「ある程度役立った」と感じた生徒がほぼ60%以上であった。 1 事後評価で「とても役立った」「ある程度役立った」と感じた生徒が60%未満であった。	3
情報発信	情報発信の推進(広報)	校外向けWebページによる積極的な情報発信と周知及び校内向けWebサイトの一層の充実を図る。	4 更新のタイミング、内容とも十分満足のいくものだった。 3 更新のタイミング、内容とも概ね満足のいくものだった。 2 更新のタイミングか内容のどちらかが不十分だった。 1 更新のタイミングも内容も不十分であった。	2
		【今年度の実施状況・課題等】 各種印刷物を可能な限り校内印刷に切り替え経費削減を行うとともに、直前までの最新情報を掲載することができるようになった。	【次年度への改善策】 来年度はさらに充実した内容にしたい。	2
業務の改善と組織力の強化	学校の組織等	学校運営委員会を定期的に開催するとともに、重点目標や具体的方策等を共通にすることで一つの学校としてのさらなる組織力の強化を図る。	4 おおよそ月に2回程度(年間20回以上)学校運営委員会を開催した。 3 月に1回(年間12回以上)学校運営委員会を開催した。 2 おおよそ月に1回程度(年間10回以上)学校運営委員会を開催した。 1 2か月に1回程度(年間6回以上)学校運営委員会を開催した。	3
		【今年度の実施状況・課題等】 月に1回のペースで運営委員会、職員会議等を定期的に開催することができた。	【次年度への改善策】 来年度はさらに充実した内容で運営委員会、職員会議等を月1回開催するとともに、教育目標の実践、徹底を図っていきたい。	3
	勤務状況	【勤務状況】教職員の健康管理への十分な配慮(教頭・養護)	4 時間外勤務が100時間を超える教職員はいない。 3 時間外勤務が100時間を超える教職員が前年比80%未満になった。 2 時間外勤務が100時間を超える教職員の割合が前年より減少したが前年比80%以上であった。 1 時間外勤務が100時間を超える教職員は減らなかった。	3
		健康診断における要精密検査該当者へ検診・受診を積極的に勧める。	4 検診・受診が80%以上であった。 3 検診・受診が70%以上であった。 2 検診・受診が60%以上であった。 1 検診・受診が60%未満であった。	4
【今年度の実施状況・課題等】 健康診断における要精密検査該当者へ検診・受診を積極的に勧めた。	【次年度への改善策】 最近先生方も仕事が増え、ストレスなどをかかえながら仕事をしている教員も多く健康管理に努めるとともに、健康診断における要精密検査該当者に対しては検診・受診を積極的に勧めていきたい。	4		